

対馬保健所管内における感染症情報

令和7年 第26週（6月23日～6月29日）

1. 定点把握対象疾患

発生状況	疾患名	定点当たり（人）		報告数	内訳			発生年代等
		前週 (25週)	今週 (26週)		対馬 病院	上対馬 病院	豊玉 診療所	
	(季節性)インフルエンザ	-	-	0	0	0	0	
↓	新型コロナウイルス感染症	1.67	0.33	1	1	0	0	30歳代：1名
	RSウイルス感染症	-	-	0	0	0		
↑	咽頭結膜熱	0.50	1.50	3	3	0		2歳：1名 3歳：1名 4歳：1名
	A群溶血性链球菌咽頭炎	-	-	0	0	0		
	感染性胃腸炎	-	-	0	0	0		
警報↑	水痘	3.00	6.50	13	11	2		5か月未満：1名 1歳：1名 2歳：4名 3歳：3名 5歳：2名 6歳：1名 10歳代：1名
	手足口病	0.50	-	0	0	0		
	伝染性紅斑（リンゴ病）	-	-	0	0	0		
	突発性発しん	-	-	0	0	0		
↑	ヘルパンギーナ	1.50	5.00	10	10	0		6～11か月：1名 2歳：2名 3歳：2名 4歳：3名 5歳：2名
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	-	-	0	0	0		
	細菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
	無菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	*基幹定点			
	クラミジア肺炎【オウム病は除く】	-	-	-	*基幹定点			
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	*基幹定点			
↓	急性呼吸器感染症（ARI）	35	34	102	ARI 定点			

2. 全数把握対象疾患

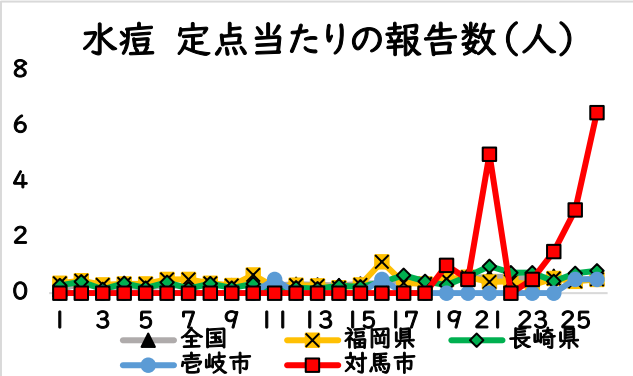
結核（2類感染症） 1件

結核の症状である、咳や痰、痰に血が混ざる、身体がだるい、体重減少等の症状が持続する場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

3. トピックス、季節情報

◆ 水痘の報告数が警報レベルです！

対馬市は、特に未就学児の報告数が多い状況です。水痘は主に小児の病気で、9歳以下での発症が90%以上を占めると言われています。成人での水痘も稀に見られますが、成人に水痘が発症した場合、重症化するリスクが高いと言われているので注意しましょう。



◆ ヘルパンギーナの報告が増えています！

- ・ヘルパンギーナは、乳幼児を中心に、夏に流行する疾患です。
- ・感染してから2～4日後に突然の発熱に続いて、喉の痛みと喉の奥に水疱が現れます。発熱は、1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛等の症状があります。
- ・一般的に経過は良好で、2～3日以内に回復しますが、合併症として、熱性けいれん、脱水症、小児では、まれに髄膜炎や心筋炎等の注意が必要です。
- ・急性期には、のどからウイルスが排せつされるため、咳などの飛沫により感染が成立します。また、発症後2～4週間は、便からウイルスが排せつされるため、乳幼児のおむつ交換後は、排泄物の処理と手洗いをしっかり行うようにしましょう。
- ・発症予防の薬や治療薬は無いため、日頃から感染対策を心がけましょう。